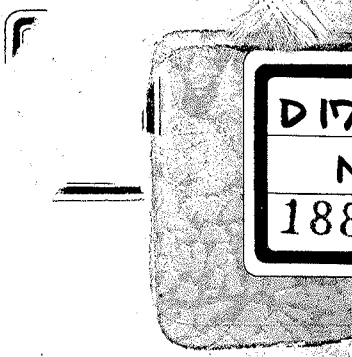


179

昭和八年九月

# 安倍川改修工事計畫畫概要

內務省橫濱土木出張所



179



# 安倍川改修工事計畫概要

## (一) 緒言

本工事ハ昭和七年度ヨリ同十九年度ニ至ル十三箇年度繼續事業トシテ工費四百八拾萬圓(内、静岡縣負擔百六拾六萬四千圓)ヲ以テ施行スルモノナリ。而シテ其區域ハ幹川安倍川ニ在リテハ静岡縣安倍郡美和村大字松野ヨリ海ニ至ル十七籽、支川藁科川ニ在リテハ同郡中藁科村大字大原以下合流點ニ至ル九籽、合計二十六籽ナリトス。

## (二) 河狀並計畫大要

安倍川ハ源ヲ安倍郡梅ヶ島村ノ北部甲駿ノ國境ニ發シ、山間ノ溪流ヲ集メツ、南流スルコト三十籽弱ニシテ北西ヨリ來レル中河内川ヲ容レ其下流ニ右支、足久保川ヲ合シテ更ニ南流シ、又右ニ安倍山脈ヨリ發スル最大支川藁科川ヲ併セ、之ヨリ静岡市及安倍郡ノ平坦部ヲ南東ニ貫キテ駿河灣ニ注グ、其流路五十一籽餘ナリ。支川藁科川ハ源ヲ安倍山脈七ツ峰ニ發シ、高山峻岳相迫レル間ヲ或ハ深淵トナリ或ハ奔湍

トナリテ南流シ、右ニ黒俣川、左ニ水見色川及新聞谷川ヲ併セ幹川安倍川ニ注グ、其流路三十四籽弱ナリ。而シテ幹川及大小十一支川ノ流路ヲ合算スレバ、約百八十籽ニ達ス。

本川ノ流域ハ静岡市及安倍郡ニ跨リ、總面積五百四十二平方籽（内、支川藁科川百七十七平方籽）ヲ有シ、概ネ山地ニシテ四百八十八平方籽ヲ數ヘ、残り五十四平方籽ハ平地ニシテ、内二十六平方籽ハ灌溉ノ利便ヲ有ス。

沿岸ノ平地ハ、上述ノ如ク、其面積必ズシモ廣大ナラズト雖モ、氣候温暖、地味豊饒ナル爲メ、農作物ノ生産夥シク縣下有數ノ富源タリ、且ツ、其下流部ニハ本縣諸般ノ中心地ニシテ、而モ我邦有數ノ大都市タル静岡市ヲ控フルヲ以テ、頗ル重要ナル地域ト稱スベク、決シテ洪水ノ氾濫ニ委スベカラザル地方トス。

然ルニ本川水源地方ハ多雨ノ地域ニ屬シ、平均年雨量三千籽ニ近ク日雨量又四百七十四籽ニ達シタルコトアリ。而モ流域地質ハ秩父古生層、御倉層、第三紀層、玢岩及安山岩ヨリ成リ、地勢急峻ナルノミナラズ、林相又不良ナルヲ以テ、崩壞箇所極メテ多シ、爲メニ出水毎ニ砂礫ノ流送甚シク、水流ハ亂レテ河幅ヲ擴大シ、且ツ河床ハ廣漠タル礫ニシテ一朝豪雨ニ會セバ、濁水ハ平野ニ奔流シテ慘狀ヲ極メ、水害

區域三十二平方籽三ニ及ビ、大正三年ノ大出水ノ如キハ損害約八拾五萬圓ニ達シタリ。

本川改修計畫ノ要旨ハ洪水ニ因ル各種ノ損害ヲ防止スルモノニシテ計畫高水流量ハ幹川安倍川ニ於テハ、中河内川合流點以下毎秒千九百立方籽、足久保川合流點以下藁科川合流點迄毎秒二千三百立方籽、藁科川合流點以下毎秒三千二百立方籽トシ、又支川藁科川ニ於テハ毎秒千立方籽乃至千二百立方籽トセリ、而シテ河幅ハ幹川安倍川ニ於テ三百三十五米乃至七百九十米、支川藁科川ニ於テ百十五米乃至三百五十米ニシテ、堤防ハ在來ノモノヲ擴築スルト共ニ、必要ノ箇所ニハ新堤ヲ築キテ氾濫ヲ防ギ、又水勢ノ激衝スル箇所ニハ護岸水制ヲ新設補強シテ之ガ安固ヲ期シ、併セテ河身ノ移動ヲ防グモノトス、然シテ堤防ハ幹川重要ナル箇所ニ於テ天端幅六米、表法二割、裏法三割、其他ノ部分及藁科川ニ於テ天端幅五米乃至六米、表法二割、裏法二割五分ヲ標準トシ、計畫高水位上天端餘裕高ハ幹川一米八、支川藁科川ハ一米五乃至一米八トス。

計畫高水位ハ大體既往ノ最高水位ヲ標準トシ、又計畫高水勾配ハ百三十二分ノ一及二百四十二分ノ一ノ範圍内ニテ之ヲ定メタリ。

左ニ工事費豫算内譯ヲ示ス。

### 安倍川改修工事費豫算内譯

費目	金額
本工事費	二、八七五、四〇〇 <small>円</small>
用地費	五四三、九〇〇
附帶工事費	四二五、四〇〇
船舶及機械費	五九〇、〇〇〇
測量費	二二、〇〇〇
營繕費	四四、〇〇〇
雜費	二七七、三〇〇
共濟組合給與金	二二、〇〇〇
合計	四、八〇〇、〇〇〇

昭和八年九月廿七日印刷

昭和八年十月一日發行

發行所

內務省橫濱土木出張所

印刷者

橫濱市神奈川區高島通り一ノ五  
山縣平司

印刷所

橫濱市神奈川區高島通り一ノ五  
合名會社 山縣印刷所  
電話本局 25509番

— (品 賣 非) —